

花田っ子きらきら通信

姫路市立花田小学校
文責 校長 内海 行之

手前味噌ですが……運動会を振り返って

今年もすばらしい運動会でした。開会式のあいさつの中で「校長先生を泣かせてください。」と子どもたちにお願いましたが、本当に目頭が熱くなった運動会でした。閉会式の校歌もよかったです。高校球児が観客と一体となって大きな声で校歌を歌っている場面をテレビで見ることがありますが、それをほうふつとさせました。「花田愛」を強く感じた瞬間でした。まだ、あります。6年生の活躍もすばらしかったです。数日前の教師との打ち合わせと前日のリハーサルだけで、あそこまで動くことができたのです。最高学年としての自覚と責任、加えて「花田魂」がなかったら、到底できなかったことです。5年生児童にとっては見做りたいモデルとして輝いていたに違いありません。正しく、花田っ子の心が一つにそろった運動会でした。

実は練習期間の態度も花丸でした。素早い集合に列の整頓、そして静かに先生の指示や注意を聞く態度。これらが練習の効率を上げ、結果として短い練習期間での演技の仕上がりにつながったのでした。

帰宅後のご家庭ではいかがだったでしょうか。運動会の話で、食卓に花が咲いたのでしょうか。

6年生が「運動会で成長したこと」という題で作文を書きましたので、最後に紹介します。

◆これまで、運動会は勝敗が大切だと思っていました。でも今は、勝敗ではなく、仲間といっしょに協力して運動会をやりとげることが大切だと思います。

なぜ、大切だと思うことが変わったかと言うと、自分たちが最高学年になったからです。ぼくは、これまで、運動会の準備や片づけをしたことがなかったからです。

ぼくは、これからも、友達といっしょに音楽会の準備や行事の準備をがんばっていきたいです。

◆私が運動会で成長したことは二つあります。

一つ目は、失敗してもすぐにあきらめないことです。組体そうの技を一回失敗しても、二回、三回と練習を積み重ねていきました。

二つ目は、だれに対しても感謝の気持ちを持つことです。私は組体そうの最後に「ありがとうございました。」と言う役に選ばれて、本番に挑みました。本番はガッチガチにきん張したけど、自分では大きい声が出せたと思っているので良かったです。

小学校生活最後の運動会で自分の役目を全て果たせたので良かったです。

そして、担任の先生、何事にもきびしく指導してくださり、ありがとうございました。

◆今日まで成長した事は、二つあります。

一つは「気を付け」です。なぜかと言うと、五年生の時だったら、気を付けがふらふらしていたので、先生に何回もおこられました。だけど、今年の気を付けの足は、かかとを引っ付けたまま、つま先をちよっと広げる感じです。

二つ目は全力で走ることです。なぜかと言うと、石とか砂のある地面ははだして行くからです。先生に「もっと全力で走れ。」「自分の組体そうをする場所に早く行け。」と言われました。五年生の時は、足が痛くて全力で走れませんでした。でも今年は、すべてを全力でやるんだという気持ちがあったからできたんだなと思いました。またそれをいろんな場面でもやっていきたいし、続けていきたいです。

保護者の皆様へのお礼

P T A本部役員の方をはじめ保体部、愛護部、その他の部員の方にも早朝より、お世話頂き深く感謝いたします。また、後片付けの際には最後までお残りくださり、協力していただきまして、本当に助かりました。こちらがお願いしておりましたルールもしっかり守って観戦し、子どもたちの一生懸命の演技に声援を送っていただきました。おかげで、「すばらしい」に加え、気持ちのよい運動会にもなりました。ただ、敷地内での飲酒とたばこのポイ捨てが見られたのが残念でした。